実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	公益財団法人日本スポーツ仲裁機構
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	第 22 回スポーツ仲裁シンポジウム
助成金額	2,756,000 円

令和 7 年度スポーツ団体スポーツ活動助成を活用し、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（以下、「機構」という。）が行っている「第 22 回スポーツ仲裁シンポジウム」の実施状況について調査を行いました。

本事業は、年１回、スポーツ仲裁に関するシンポジウムを開催することにより、スポーツ仲裁に関するテーマについて参加者の理解を深めるとともに、機構やスポーツ仲裁制度についての啓蒙を行うことで、スポーツの健全な振興を図ることを目的としています。

■助成の意義

助成金を受けたことにより、基礎講演やパネルディスカッションといったコンテンツを取り入れた会議体の開催が可能となり、また、多くの参加者の関心を集めることができたそうです。もし、助成を受けられない場合は、シンポジウムのコンテンツ縮小どころかシンポジウムの開催自体も検討せざるを得なかったそうですが、現在は本助成を受けることにより参加料を無料にするなど、費用面での参加者の負担軽減も叶い、参加しやすい環境を作ることができているそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

参加者に関心を持ってもらうために、シンポジウムのテーマは前年に起こったタイムリーな話題を採用しているそうです。

参加方法については、会場での聴講に加え、遠方に住んでいても参加できるようオンライン視聴も行うことで、参加申込者は合計１５０名にもなったそうです。

参加の募集については、ホームページのみでなく、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本パラスポーツ協会のメーリングリストで募集を案内することに加え、日本スポーツ法学会にも告知を依頼することによって、広くスポーツ仲裁に興味・関心のある方々へ効果的に周知できたそうです。

■所感

シンポジウムの基礎講演やパネルディスカッションは、登壇者の話がとても分かりやすく、スポーツ仲裁について学ぶことができました。会場は満席になるほど大盛況となり、スポーツ仲裁に対する関心が高いことが伺えました。

スポーツ仲裁シンポジウムの開催により、機構やスポーツ仲裁制度についての啓蒙を行うこと

によって、競技者等がスポーツに集中して取り組む環境が整備され、競技力の向上及び競技の普及につながることを期待します。

（令和８年１月２３日往査）

（写真）第 22 回スポーツ仲裁シンポジウムの様子



